



例会日/毎週木曜日 12:30
例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111
事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F
TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722
e-mail office@n-heisei.org
<http://www.n-heisei.org/>

第1258回例会 平成28年5月19日(木)

- 本日の例会プログラム ゲスト卓話「正行寺の活動報告」
正行寺 副住職 末広武士氏
- ◎次回例会プログラム ゲスト卓話「投資のすすめ」
豊和銀行中津支店 次長 佐藤真一郎氏



前回(1257回例会)の記録 平成28年5月12日(木)

■ゲスト	■出席報告
奥田家屋調査士 奥田 寛氏	会 員 数 25名 免 除 者 数 3名 対 象 者 数 22名 本日出席者 16名 欠 席 者 数 7名 出 席 率 68.18%
■ビジター	

■1256回出席報告の修正
1256回欠席者 10名
メイクアップ 1名
欠 席 者 9名
修正出席率 54.55%→ **59.09%**

●メイクアップ
二反田会員(Eクラブ)

●欠席者
梶屋会員、長野(定)会員、長野(修)会員、初倉会員、仲本会員

◎ロータリーソング 君が代、奉仕の理想

◎会長の時間 辛嶋会長

早いものでこの年度も11ヶ月目に入りました。先週はゴールデンウィークでしたので、しばらくぶりにお会いするような気がしています。5月は青少年奉仕月間です。私たちのクラブでは6月5日に安心院家族旅行村で清浄園の子供たちを招待して、一日楽しく過ごす予定です。会員の多数の参加をお願いします。

さて、震災の方は約一か月経ちましたがまだ収束していません。震度1以上の地震が1200回以上も続いています。新潟地震、神戸の地震、東北の地震などをはるかに凌ぐ回数です。被災地の方々の不安な気持ちが伝わって来るような気がします。この先復興に向けての活動がだ



んだんと進んでいくものと思われそうですが、なかなか困難な道のりだと想像します。

◎幹事報告 宇都宮幹事

- 例会変更 津久見RC、湯布院RC
- 週報受理 津久見RC、加古川平成RC
- 幹事報告

- ・明珠RC創立35周年記念式典延期のご案内
- ・中津市暴力絶滅市民会議役員総会の開催についてご案内
- ・ガバナー事務所より「平成28年熊本震災について現状報告」
- ・ガバナー月信5月号
- ・熊本菊南RC30周年記念式典中止のお知らせ
- ・中津中央RCより6月例会プログラム



◎その他報告事項

誕生日のお祝い

永松会員 5月7日



黒瀬会員 5月10日



梶原会員 5月19日



◎ニコニコボックス

【辛嶋会長】 加来さん、九州大学歯学部臨床教授就任、おめでとうございます。私の長男は、加来さんの後輩にあたります。週報の原稿が遅れたことをお詫び申し上げます。

【加来会員】 母校、九州大学歯学部臨床教授に就任いたしました。学会でシカゴに行ってきましたが、RI本部にも立ち寄りました。ナイアガラ、NYと経由して、帰ってまいりました。



【仲本会員】 奥田さん、本日はよろしく願い申し上げます。

【岡野会員】 2720地区、震災の被害状況ですが、熊本地区の甚大な被害は周知のとおりですが、ここ第一分区では玖珠RCに被害が出ている模様です。

【梶原会員】 お誕生日のお祝いをありがとうございました。

【長野(修)会員】 奥田さん、本日はよろしく願い申し上げます。

【永松会員】 お誕生日のお祝いをありがとうございました。

【黒瀬会員】 お誕生日のお祝いをありがとうございました。

【二反田会員】 たくさんのニコニコをありがとうございました。

◎ゲスト卓話

「地震と土地の境界について」

奥田家屋調査士 奥田 寛氏

①通常の地殻変動のとらえ方

地殻変動があっても小区域（たとえば市町村単位）では同じプレート上であって、同じ方向に移動するものと考えます。

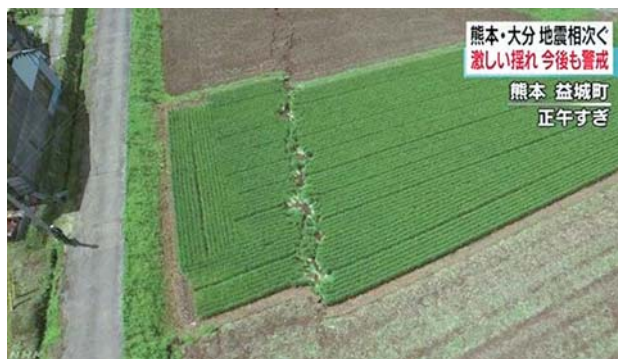
ちょうど船に乗ってるのと同じで土地の境界も平行移動するため、地殻変動があっても土地の境界は動かないと考えます。これが従来からある基本的な考え方です。

②地震による広範囲の地殻変動（水平移動）のとらえ方

①と同じ考え方をします。

③②の場合で活断層に沿って地殻の変動あった場合

一つの土地が分断され左右逆方向に変動してしまいます。



この場合境界を決めるのが少々ややこしくなってきました。法務省の通達によればこの場合には土地所有者間の合理的な合意を尊重するとあります。図面と話し合いにより調整することになります。これが延々と何十キロも続く事もあり得ます。

上記のように地球の表面は地殻変動により、移動していることはプレート理論が一般化し、今では誰でも知るところとなっています。

測定の現場でもGPSを使った高精度の測量が行われるようになり、地表面の動きを無視できなくなっています。自分たちの周りの土地も年に1cm、2cmと動いていて今測量した結果と10年後測量した結果は当然移動した分だけ違ってきます。極端な言い方をすれば測量するたびに結果は違ってきます。測量用のGPS精度は3mm～10mmくらいの精度で、自動車用のGPS精度数十メートルと比べて非常に高精度で測量しています。

地球の地殻変動はダイナミックです。測量結果に混乱を起さないために、現在日本ではニュージーランドで考案されたSemi-dynamic補正というものを行い、測量結果を2011年の時点の位置に変換して表示することになっています。これにより地表面に移動があってもあたかもそれを無視したように測量結果を出すことができます。それを測地成果2011と呼んで、2011年が基準年となっています。